Mi-Yeon Photo Exhibition

Dol/Dang

Jeju Island — 神々の島

G&S
根雨

2020.11.13 [Fri] - 12.15 [Tue]

1F-1-6-1 Hattori-motomachi, Toyonaka-shi, OSAKA, 561-0851, JAPAN

石　　堂
Dol/Dang

Jeju Island ―神々の島

ミーヨン写真展

2020.11.13 [Fri] -12.15 [Tue]
13:00-19:00 | Closed on Wed. and Thu.

ミーヨン / Mi-Yeon

1963年韓国ソウル生まれ。1988年渡仏し、パリ写真学校 ICART PHOTOで写真を学ぶ。1991年より東京在住。思想や哲学、信仰などをモチーフに、「存在することの確かさと不確かさ」を問う作品をつくり続ける。主な個展に「I and Thou」（2016年 Anne Clergue Gallery アルル | 2016年 Salon du Panthéon パリ | 2017年 ギャラリーMuan 長岡）、「Alone Together」（2013年 冬青社 東京 | 2015年 Space 22 ソウル | 2016年 新潟絵屋 新潟）、「よもぎ草子ーあなたはだれですか」（2016年 ギャラリーMuan 長岡 | 2017年 ルーニィ247 東京）など。フランスの写真フェスティバル Photo Saint-Germain（パリ 2015）、Regards d' ailleurs（ドルー 2017）、Promenades Photographiques（ヴァンドーム 2020）に出展。
写真集に『Alone Together』（2014年 kaya books | 2017年 Noonbit Publishing co.）、『よもぎ草子ーあなたはだれですか』（2014年 窓社）、ハンドメイドアーティストブックに『I and Thou』（2015年）など。 http://mi-yeon.jp

*作家在廊予定：11月13日（金）〜17日（火）

ミーヨンの写真を初めて見たのは2016年、新潟での個展「Alone Together」でのこと。世界各地を旅してモノクロームの丁寧な筆致とでも呼びたくなるような繊細な手業で写し撮られた写真は、旅のさなかにふと、自分が今いる場所が何処なのか分からなくなるような、見知らぬ風景の中でふと、神様の視点に立ってこの世の全てを見ているような…時のとまった一瞬に彼岸と此岸、ふたつの世界の往来が二重写しに重ね合わされているようで、その不思議な感触がとても強い印象を私に残した。
それから2年、アニミズムへの強い関心が、ある本をきっかけに、ミーヨンを沖縄、そして祖国でもある韓国の済州島（Jeju Island）へと向かわせた。
近年の儒教やキリスト教の拡がりによって、今では打ち捨てられつつある済州島の原始宗教の名残りは、島に点在する集落の、地元の人々の案内がなければ決してたどり着くことのできない奥深くに潜む堂（Dang）や巨石（Dol）の姿となって、ミーヨンの前に現れた。今回はそこで写し撮られた約30点をDol/Dangのシリーズとして初めて発表する。
現代のコロナ禍にあって、信仰の形もまた姿を変えていくのかもしれないが、現代を生きる私たちにも通底する思いを抱えたであろう原始の人々が、祈りを捧げ、大いなるものを信じようとした、その痕跡のひとつがここにある。（企画ディレクター：小田鮎子）

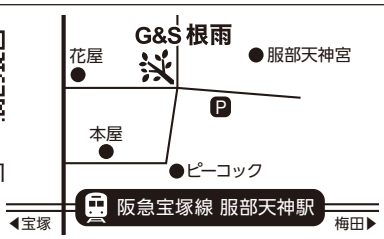
Dol 石 돌, Jeju Island　2018

Dang 堂 당, Jeju Island　2018

アーティスト・トーク
ミーヨン × 石井仁志（G&S 根雨 プロデューサー）
2020年11月14日（土）16:00〜17:30 | 定員：15名
参加費：1,000円、要予約　*お申し込みはお電話・メールにて

G&S 根雨

561-0851
大阪府豊中市服部元町 1-6-1-1F
Tel. 06-7709-3790
https://gsneucontemporary.wixsite.com/website-1
E-mail. g.s.neu.contemporary@gmail.com



Follow us!

阪急宝塚線服部天神駅
(梅田から11分)下車徒歩1分